

# 旧パソコンから 新パソコンへ入れ替えられる方へ

《Mercury-LAVIS のデータ・設定の移行手順》

## 旧パソコンから→新パソコンへの移行の流れ

### 1. 旧パソコンでインストール方法を確認します



- スタンドアロン
- サーバークライアント

### 2. 新パソコンに、データ・設定を移行します



- データ・設定のバックアップ
- プログラムのインストール
- データ・設定のリストア（復元）

# Mercury-LAVIS のインストール方法の種類と確認方法

## インストール方法の種類

Mercury-LAVIS のインストール方法には、以下の2種類があります。  
ご使用になる環境に合ったインストール方法を選択してください。

### スタンドアロン

すべてのファイルを、1台のコンピューターにインストールします。

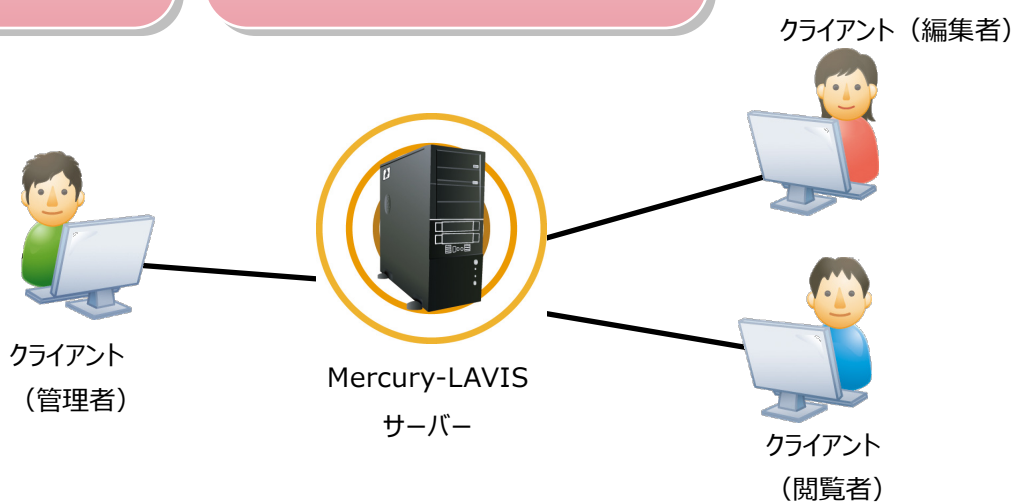
1台のコンピューターで、地籍データを編集します。



### サーバークライアント

地籍データをサーバーで管理します。

複数のクライアントで地籍データを編集します。



## インストール方法の種類の確認方法

ご利用中のMercury-LAVISの「インストール方法」を確認します。  
インストール方法によって、現場データのバックアップ・リストアの手順が変わります。

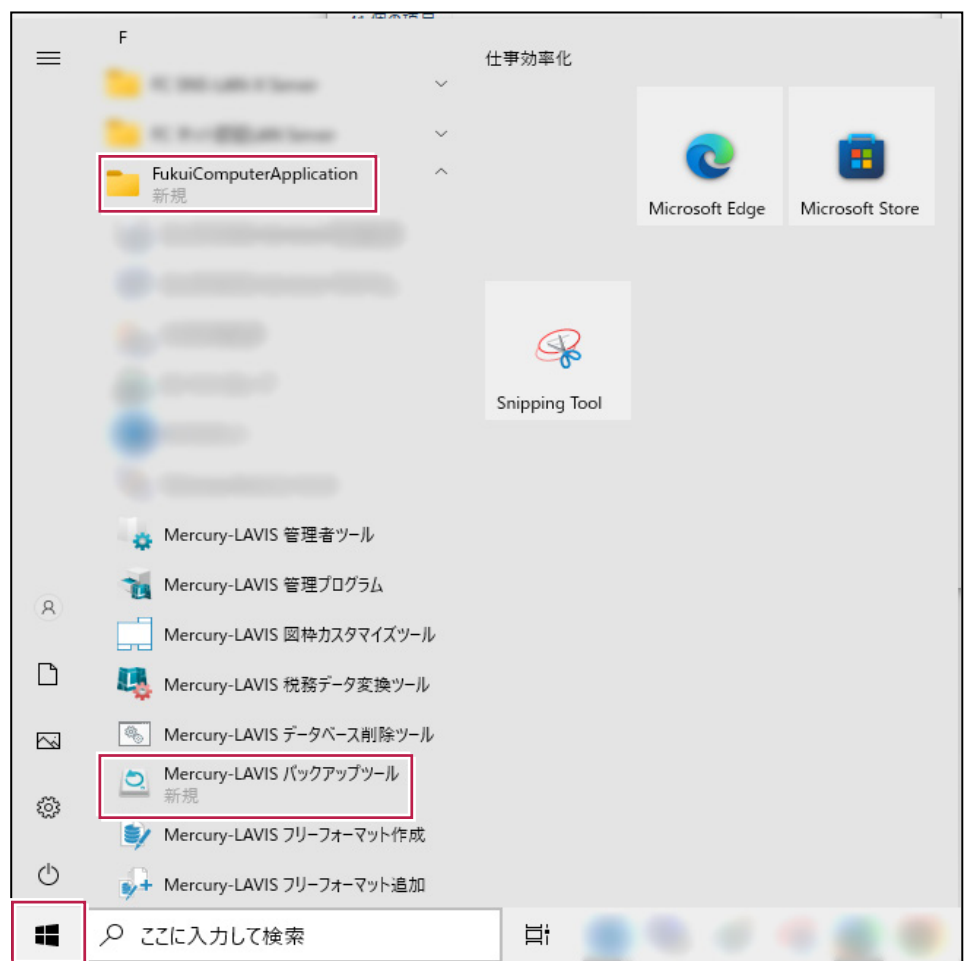
- 1 Mercury-LAVIS サーバーをインストールしたサーバーマシンのデスクトップ上に  
・Mercury-LAVIS バックアップツール  
があるか、ないか



- 2 スタートメニューにて  
[FukuiComputerApplication] —  
[Mercury-LAVIS Ver.○ バックアップツール]  
があるか、ないか

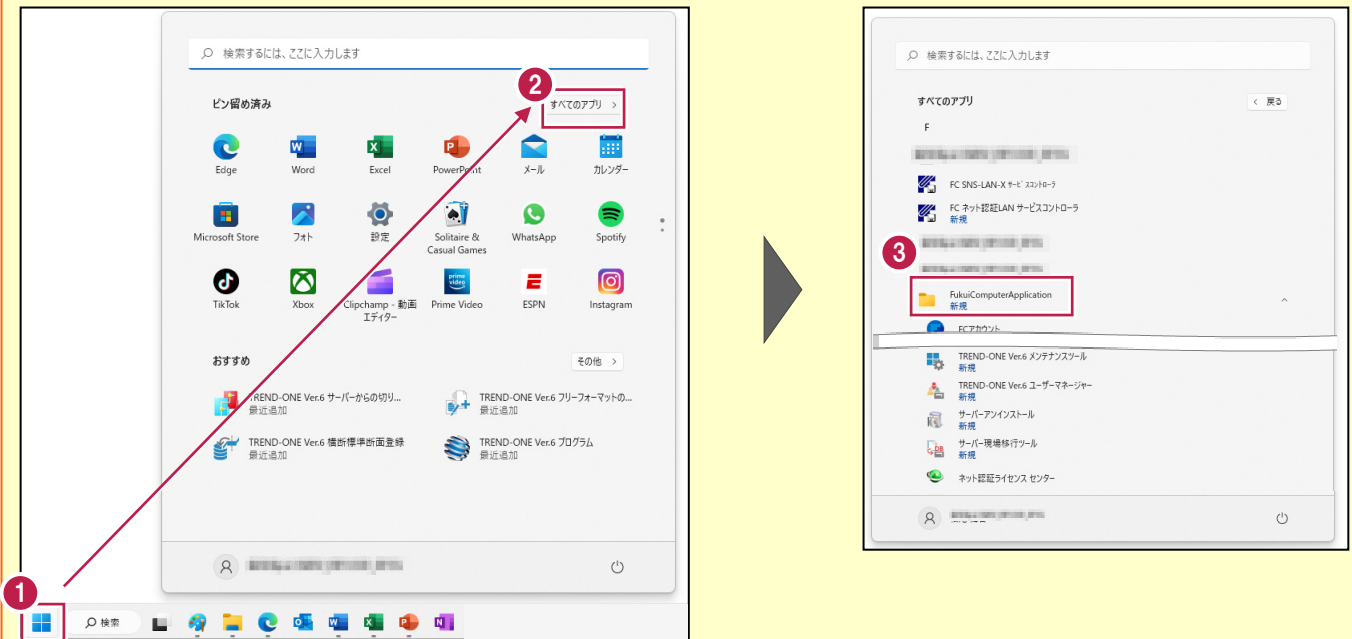
**ある場合**→サーバークライアント

**ない場合**→スタンドアロン

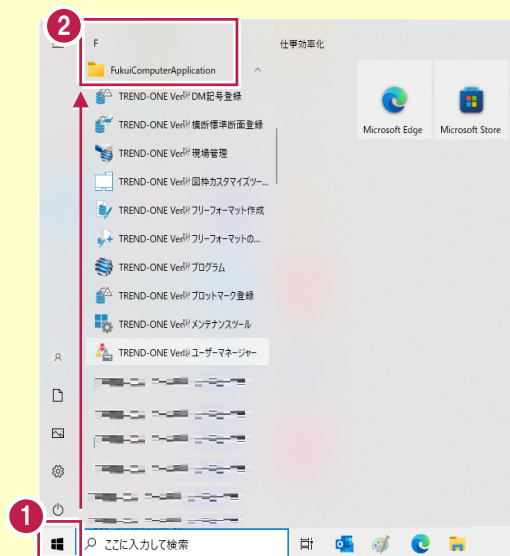


## 【補足】 スタートメニューから [FukuiComputerApplication] を確認する手順

### ● Windows11の場合



### ● Windows10の場合



## 新しいパソコンへの、データ・設定の移行の流れ

### スタンドアロン用



#### 旧パソコンでの作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除

#### 新パソコンでの作業

- ③ FC アカウントのインストール
- ④ Mercury-LAVIS のインストール
- ⑤ プログラムの起動
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定

## スタンドアロン用



### 旧パソコンでの作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除



旧マシンでの作業

# 1

## データ・設定のバックアップ

まず、旧パソコンのMercury-LAVISで、「地区」・「設定」・「ユーザー定義帳票」・「相続関係図」のデータをバックアップします。

### 1-1 地区データをバックアップする

地区データ（事務支援、公図CAD、地籍計算・CAD）をバックアップする手順です。  
バックアップファイルの拡張子は「.lvx」です。

以下のいずれかの方法でバックアップします。

#### 1-1. 地区データの一括バックアップ（Ver.4以降）

※ Ver.4以降は、地区データの一括バックアップが可能です。

#### 1-2. サーバーツールによる地区データの一括バックアップ

※ サーバークライアントインストールしている場合は、バックアップツールで一括バックアップすることができます。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [バックアップ]  
- [地区（一括）] をクリックします。



2 [地区の一括バックアップ] ダイアログが表示されます。

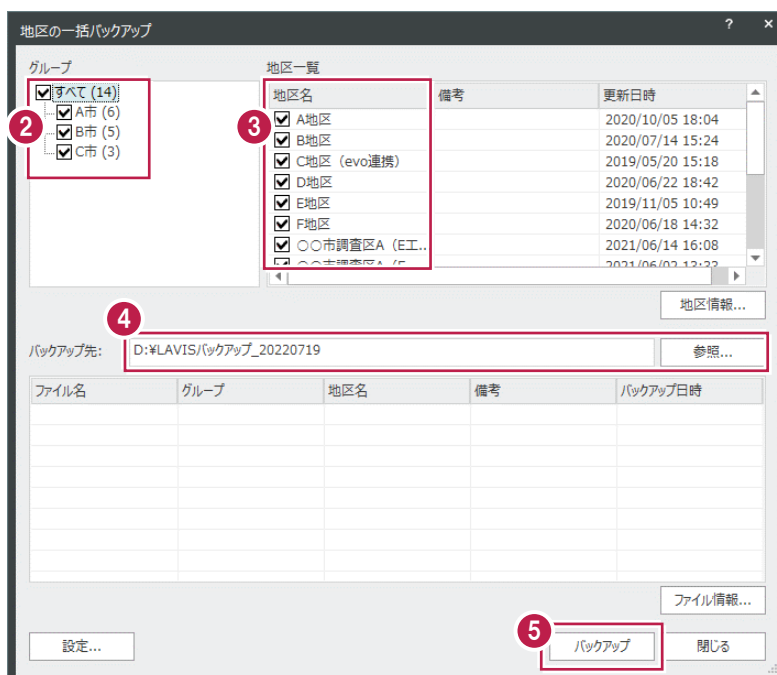
[グループ] で、バックアップするグループのチェックを ON にします。

3 [地区一覧] で、バックアップする地区のチェックを ON にします。

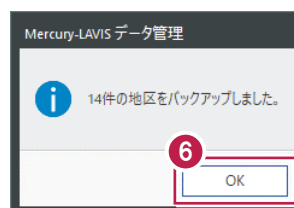
4 [参照] をクリックして [バックアップ先] を指定します。

5 [バックアップ] をクリックします。  
一括バックアップが開始されます。

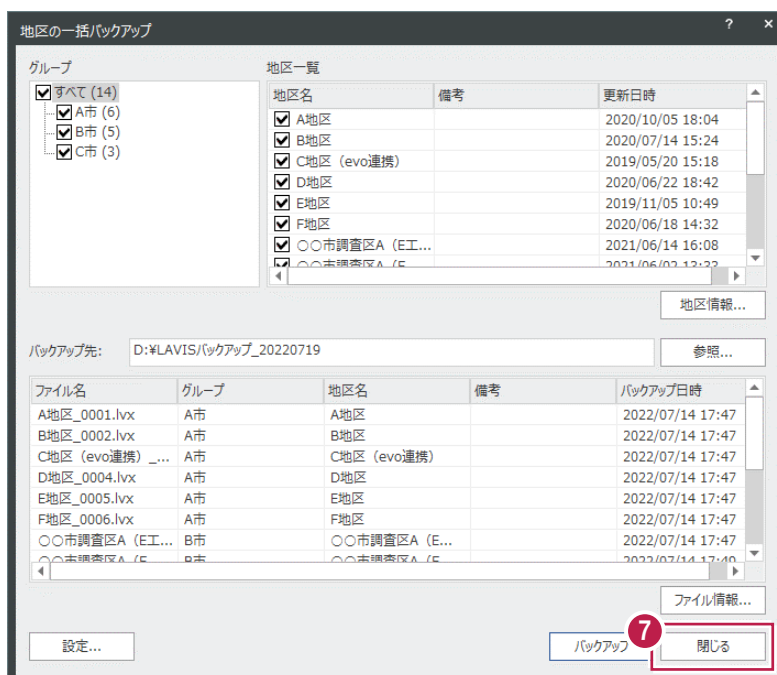
※ バックアップするデータによっては、時間がかかる場合があります。



6 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



7 [閉じる] をクリックして、終了します。

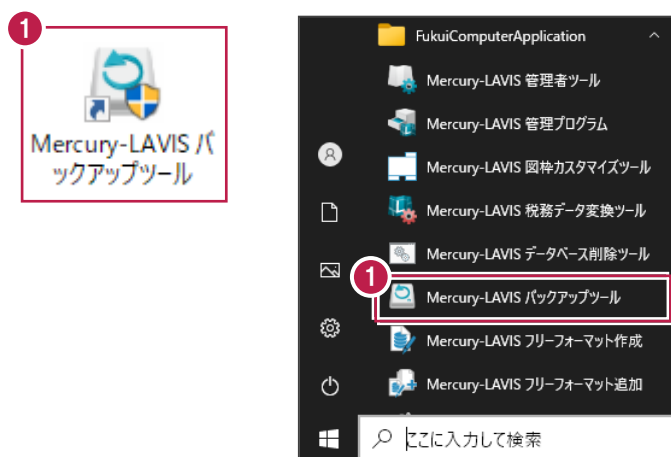




## 1-2 サーバーツールによる地区データのバックアップ<sup>①</sup> (サーバクライアントインストールしている場合のみ)

- ① デスクトップの [Mercury-LAVIS バックアップツール] をダブルクリックします。

または Windows の「スタート」メニューの [FukuiComputerApplication] - [Mercury-LAVIS バックアップツール] をクリックします。



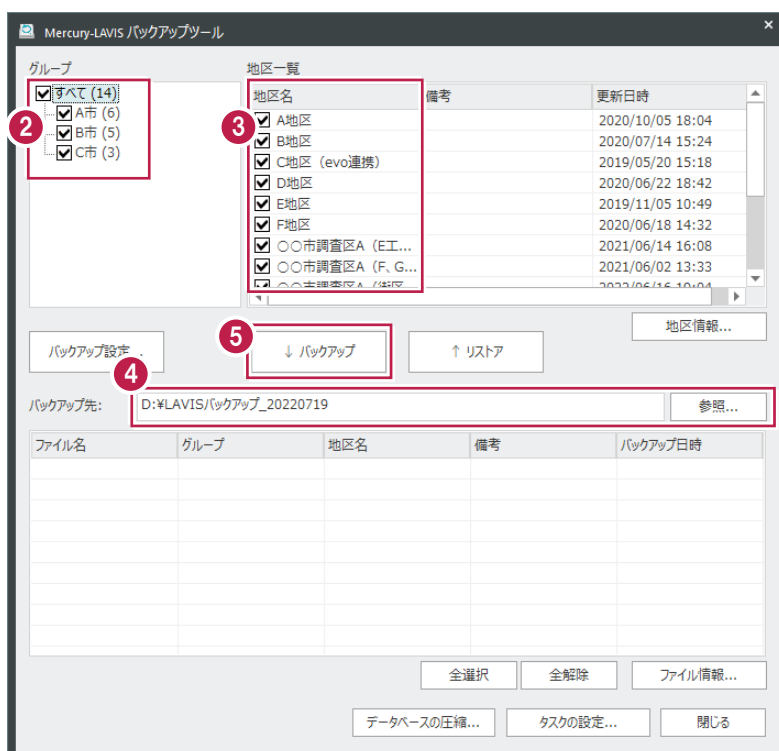
- ② 「バックアップツール」が起動します。  
[グループ] で、バックアップするグループのチェックを ON にします。

- ③ [地区一覧] で、バックアップする地区のチェックを ON にします。

- ④ [参照] をクリックして [バックアップ先] を指定します。

- ⑤ [バックアップ] をクリックします。  
バックアップが開始されます。

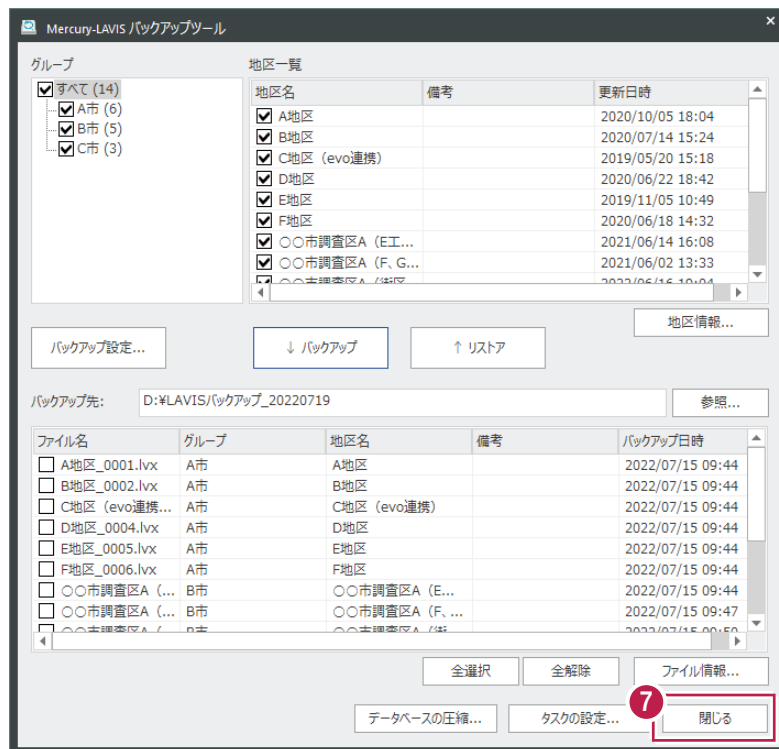
※ バックアップするデータによっては、時間がかかる場合があります。



6 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



7 [閉じる] をクリックして、終了します。



## 1-3 全設定のバックアップ

各種設定やマスターファイル、レジストリをバックアップする手順です。  
各種設定やマスターファイルのバックアップファイルの拡張子は「.lvm」です。  
レジストリのバックアップファイルの拡張子は「.lvg」です。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [バックアップ] - [全設定] をクリックします。



- 2 [全設定バックアップ] ダイアログが表示されます。

[各種設定・マスターファイル] をクリックします。



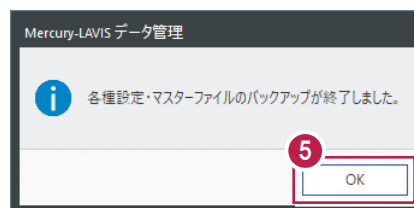
- 3 [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

保存先、ファイル名を指定します。

- 4 [保存] をクリックします。  
バックアップが開始されます。



- 5 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



- 6 [レジストリ] をクリックします。



- 7 [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

保存先、ファイル名を指定します。

- 8 [保存] をクリックします。

バックアップが開始されます。



- 9 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



- 10 [閉じる] をクリックして、終了します。



## 1-4 ユーザー定義帳票のバックアップ

ユーザー定義帳票とカスタマイズ帳票をバックアップする手順です。

Mercury-LAVISのデータフォルダー内の「CustomForm」フォルダー内のファイルがバックアップされます。

複数の帳票ファイルが1つのファイルに圧縮されます。

バックアップファイルの拡張子は「.lvf」です。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [バックアップ]  
- [ユーザー定義帳票] をクリックします。



- 2 [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

保存先、ファイル名を指定します。

- 3 [保存] をクリックします。

バックアップが開始されます。



- 4 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



## 1-5 相続関係図のバックアップ

「相続関係図プログラム」のデータをバックアップする手順です。

Mercury-LAVISのデータフォルダー内の「InheritData」フォルダー内のファイルがバックアップされます。

複数の相続関係図データが1つのファイルに圧縮されます。

バックアップファイルの拡張子は「.lvi」です。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [相続関係図]  
- [バックアップ] をクリックします。

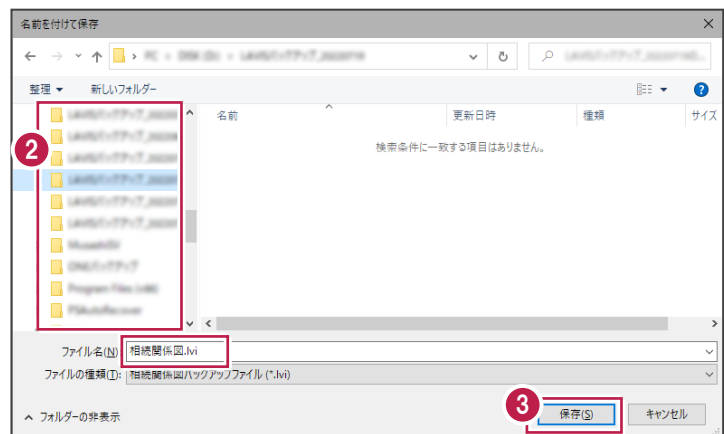


- 2 [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

保存先、ファイル名を指定します。

- 3 [保存] をクリックします。

バックアップが開始されます。



- 4 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。





旧マシンでの作業

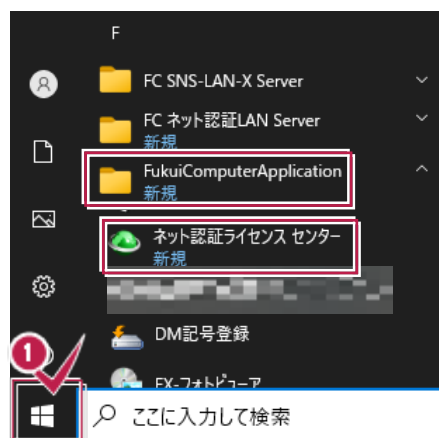
## 2 ライセンスの解除

旧パソコンで使用している「ライセンス」を解除します。  
ライセンスを解除しないと、新パソコンでライセンスを認証することができません。

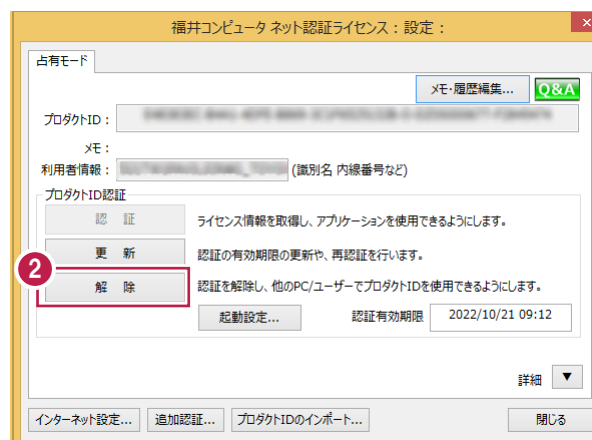
### 2-1 ネット認証ライセンス（占有）を解除する

- 1 画面右下のタスクバーの通知領域にある、「FC ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックします。

もしくは、スタートメニューから、  
[FukuiComputerApplication] -  
[ネット認証ライセンスセンター] を起動します。



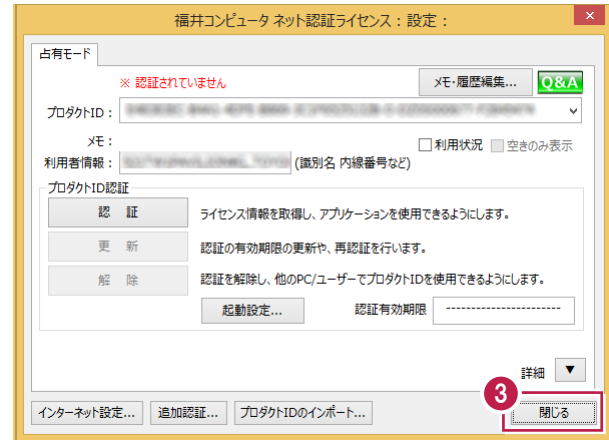
- 2 ネット認証ライセンスの「設定」画面が表示されます。  
[解除] を押すとネット認証が解除されます。





③ [閉じる] をクリックして画面を閉じます。

以上で、「ネット認証ライセンス（占有）の解除」は完了です。

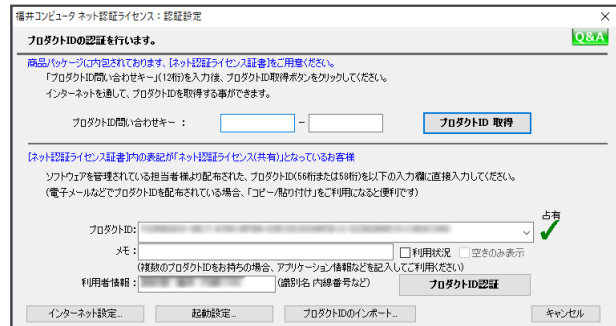


### 補足

ネット認証ライセンスセンターのアイコンが右図のように黒くなっている場合は、ライセンスは「解除」済みです。



また、ネット認証ライセンスセンターを起動したときに右図のように [認証設定] の画面が表示された場合は、ライセンスは「解除」済みです。





## スタンドアロン用



### 新パソコンでの作業

- ③ FC アカウントのインストール
- ④ Mercury-LAVIS のインストール
- ⑤ プログラムの起動
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定



新マシンでの作業

# 3

## FC アカウントのインストール

新パソコンに、Mercury-LAVISの最新プログラムをダウンロードするのに必要な「FCアカウント」をインストールします。

### 3-1 FCアカウントをダウンロードしてインストールする

弊社WEBサイトから、「FCアカウント」をダウンロードしてインストールします。

※コンピューターが再起動されますので、実行中のアプリケーションは、全て終了させておいてください。

- 1 インターネットの検索サイトで、「FC アカウント」を検索します。



- 2 検索結果の「FC アカウントご利用案内 | 福井コンピュータグループ」をクリックします。  
検索結果に表示されない場合は、以下のアドレスを直接ブラウザに入力してください。

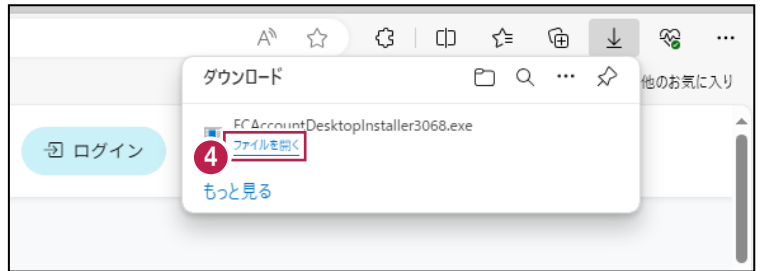
<https://hd.fukuicompu.co.jp/fc-account/info.html>



- 3 「FC アカウントをダウンロード」をクリックします。



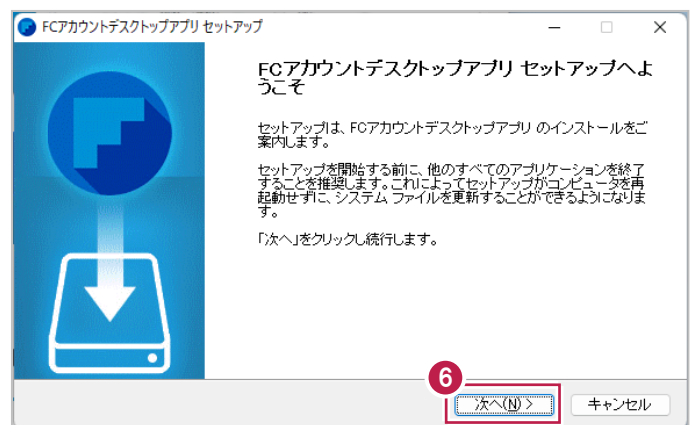
- 4 ファイルのダウンロードの画面が表示された場合は、「ファイルを開く」を押します。



- 5 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

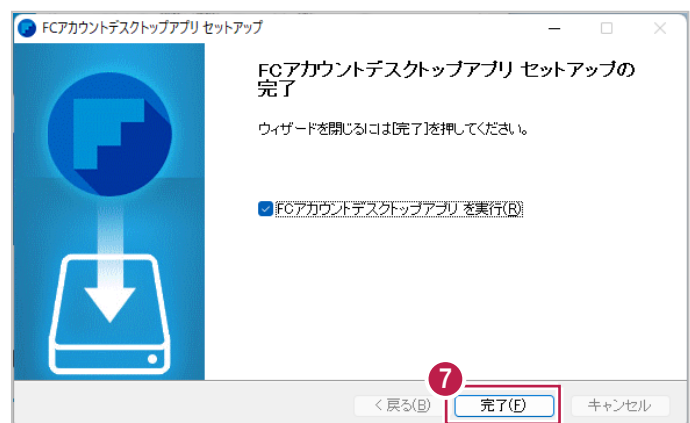


- 6 FC アカウントのセットアップが開始されます。  
画面にしたがって、セットアップをおこなってください。



- 7 インストールが完了したら、「完了」をクリックします。

※ [FC アカウントデスクトップアプリを実行] がオンの状態で「完了」をクリックすると、自動的に FC アカウントのデスクトップ版が起動されます。



※ FC アカウントのデスクトップ版をインストールすると、デスクトップに FC アカウントを起動するアイコンが登録されます。



※ インストールしたデスクトップアプリ版で、FC アカウントを登録して製品をインストールします。

8 FCアカウントデスクトップ版で次の画面が開きます。「次のステップへ」を押します。

※ 他のパソコンで FC アカウントを登録済みの方は、「すでに FC アカウントをお持ちの方はログインへ」よりログインして、「インストール・バージョンアップ」より製品をインストールできます。



9 FC アカウントデスクトップ版を利用するお客様のメールアドレスを入力して、「確認コードを送信」を押します。

[次へ] をクリックして、ユーザー登録をおこないます。



10 入力したメールアドレス先にメールが届きます。メールに書かれているコードを「確認コード」に入力して「コードの確認」を押します。



- 11 「新しいパスワード」「パスワードの確認入力」  
（確認のため2回入力）「姓」「名」を入力し、  
利用規約を確認して「利用規約に同意」にチェック  
を付け「作成」を押します。

メールアドレスを確認しました。引き続きパスワード、  
姓、名を入力して「作成」を押してください。

11

新しいパスワード

パスワードの確認入力

姓

名

利用規約に同意（※ページ下部参照）

作成

< 戻る

- 12 「お客様情報の確認」を押します。

ご利用中の当社製品シリアルから  
当社でお預かりしているお客様情報と連携します

12

お客様情報の確認

< HOME

- 13 右記の画面が表示されますので、保守サービ  
ス中をご契約中の場合は「こちら」をクリックします。

シリアルが見つかりませんでした。

当社製品をご契約中のお客様をお試しください。  
保守サービスをご契約中のお客様は「こちら」で当社製品をインストールできます。

13

お客様情報のご照会に関するお問い合わせはこちら

< HOME

- 14 「ユーザーコード」と「製品シリアル」を入力して  
「製品を表示する」を押します。

HOME > 保守契約プログラムのインストール

保守契約プログラムのインストール

ユーザーコードと製品シリアルを入力してください。  
インストール可能な製品が表示されます。  
※ユーザーコードと製品シリアルについてはこちら

14

製品を表示する

※以上で、「FC アカウントのインストール」は完了です。



新マシンでの作業

# 4

# Mercury-LAVIS のインストール

新パソコンにインストールした FC アカウントを利用して、Mercury-LAVIS を新規インストールする手順を解説します。

## 4-1 全体ファイルの保存

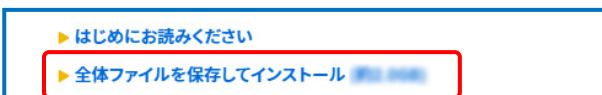
Mercury-LAVIS の全体ファイルをダウンロードして保存します。

※ ご利用の通信環境、時間帯によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。そのようなときは、別の時間帯で再度お試しください。ダウンロードを中止しても、また続きから再開されます。

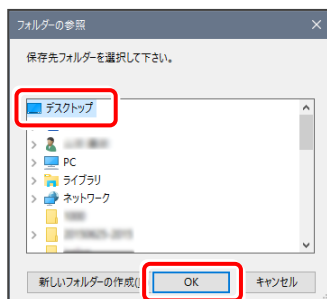
1. 「インストール・バージョンアップ」のページにある Mercury-LAVIS の「インストール」ボタンをクリックします。



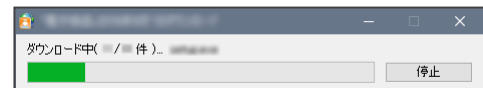
メニューが表示されますので、「全体ファイルを保存してインストール」をクリックします。



2. ダウンロードする全体ファイルの保存先（デスクトップなど）を指定して、[OK] をクリックします。

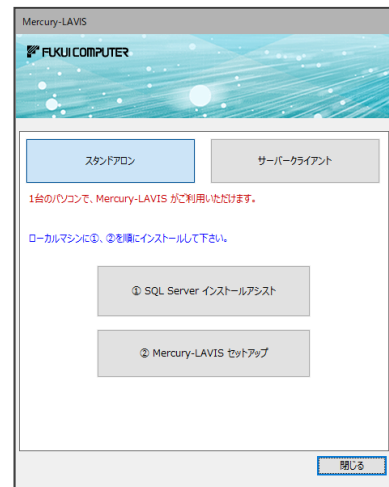


3. ダウンロードが開始されます。



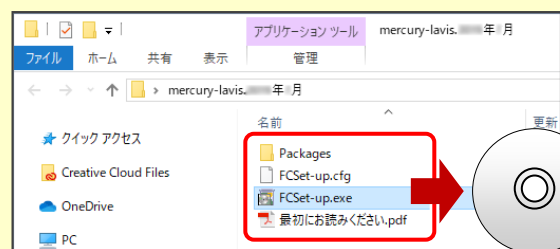
※ ダウンロードを中止する場合は、上記画面で [停止] をクリックしてダウンロードを一時停止してから、右上の [x] ボタンでダウンロードをキャンセルしてください。

4. ダウンロードが完了すると、セットアップ画面が表示されます。



### 他のコンピューターで、ダウンロードした全体ファイルを使用する場合は

保存した全体ファイルを、エクスプローラーなどで DVD や USB メモリに書き込んでください。

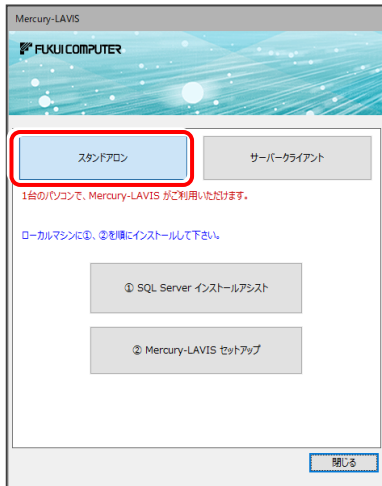


## 4-2 プログラムのインストール

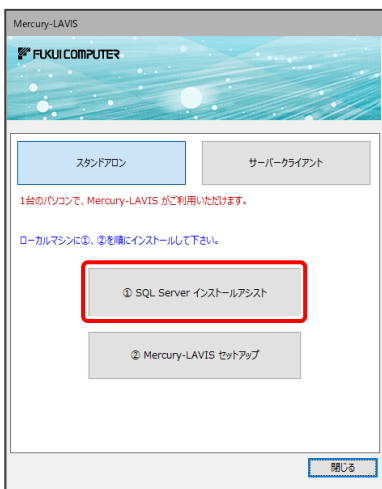
保存した全体ファイルを利用して、プログラムをインストールします。

### Step1 | SQLServer インストール

#### 1. [スタンドアロン] タブを選択します。



#### 2. [① SQLServer インストールアシスト] ボタンを押します。

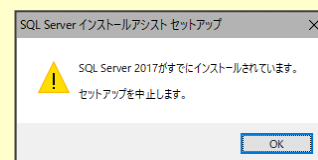


#### インストールアシストが不要な場合があります

※ コンピューターに、既に製品版の「SQLServer」がインストール済みの場合は、「インストールアシスト」でSQLServerをインストールしないでください。  
「Step2 Mercury-LAVIS インストール」へ進んでください。

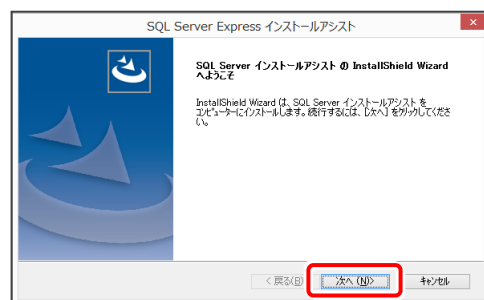
※ 「インストールアシスト」でSQLServerをインストールする必要がない場合は、「セットアップ（インストール）を中止します。」とメッセージが表示されます。  
「Step2 Mercury-LAVIS インストール」へ進んでください。

メッセージ例



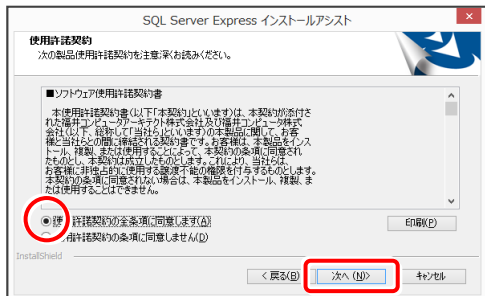
#### 3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。

- ※ 画面は、環境によって異なる場合があります。
- ※ インストールには時間がかかる場合があります。

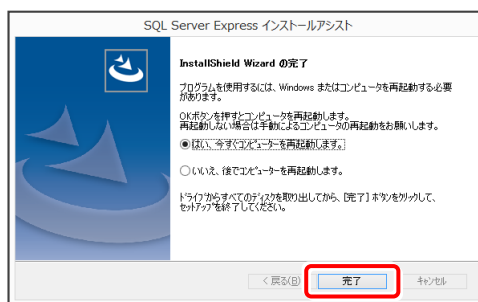
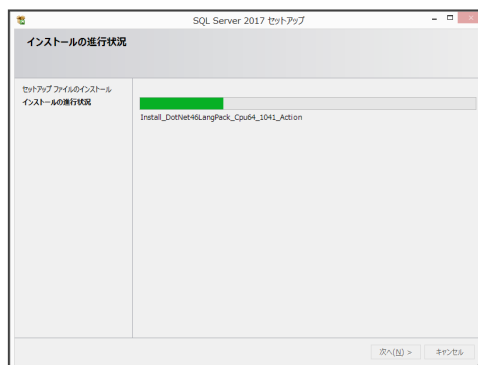
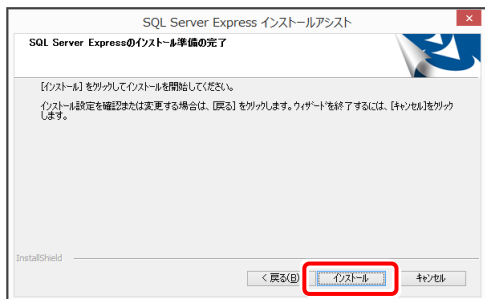
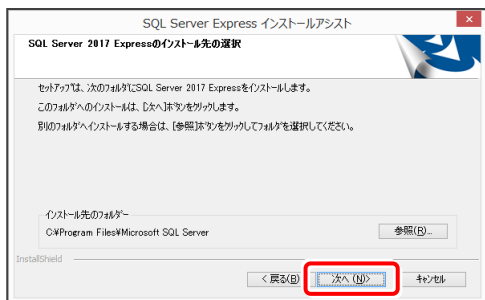


(次ページへ続く)

【使用許諾契約の全条項に同意します】を選択します。



プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。



※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動してください。

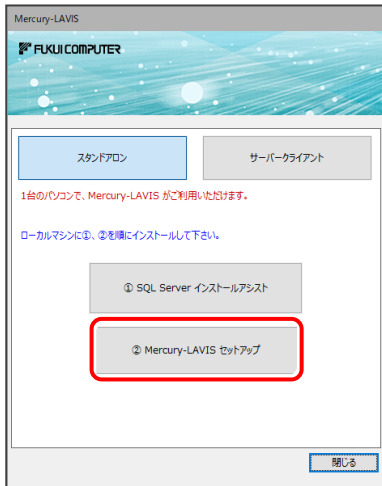
(次ページ「Step2」へ進みます)



## Step2 | Mercury-LAVIS インストール

### 1. セットアップ画面の

〔② Mercury-LAVIS セットアップ〕 ボタンを押します。



### 2. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



〔上記の全条項に同意します〕 をチェックして、〔次へ〕 を押します。



コンピューターの時計とインストール先フォルダーを確認します。必要があれば、変更してください。



〔プロテクト〕 が「ネット認証ライセンス：（占有）」であることを確認して、〔次へ〕 を押します。



プロテクトが「ネット認証ライセンス：（占有）」以外になっている場合は

〔「プロテクト」タイプを変更する〕 ボタンから表示されるダイアログで、「ネット認証」の「占有」を選択します。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。

プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。



### ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-LAVIS が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考してください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動します。



### 再起動後に「FCアカウント」の画面が表示された場合は

FCアカウントの登録は、プログラムの初回起動後におこないます。

ここではまだ何もしないで、次の手順に進んでください。



以上で、プログラムの新規インストールは完了です。



新マシンでの作業

## 5

# プログラムの起動

新パソコンでプログラムを起動して、管理者の登録とライセンスの認証をおこないます。

※プロダクト ID の認証時は、インターネットに接続された環境が必要です。

### 5-1 「管理者ツール」の起動

以前に登録しているユーザーは、バックアップをしても新しいサーバーやパソコンには引き継がれません。

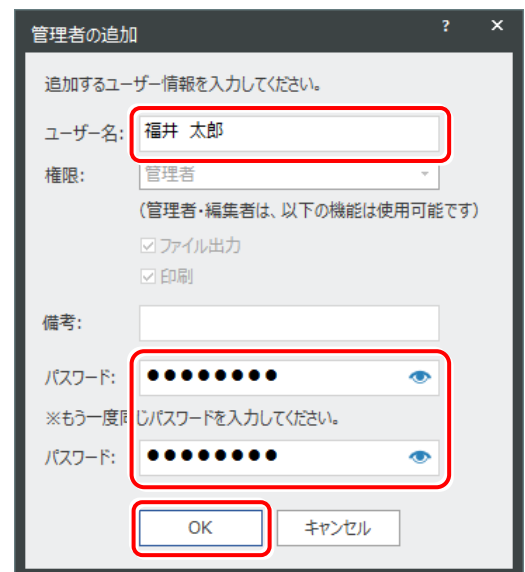
そのため、新しいサーバー/パソコンで「Mercury-LAVIS」を利用するには、まず管理者の方が「管理者ツール」を起動して、管理者や使用するユーザーを登録する必要があります。

(※ 管理者以外の方は、「5-2. 「管理プログラム」の起動」にお進みください。)

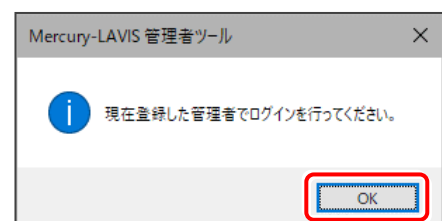
1. デスクトップの [Mercury-LAVIS 管理者ツール] のアイコンをダブルクリックして起動します。



2. 管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力して、[OK] をクリックします。



3. 確認メッセージの [OK] をクリックします。



(次ページへ続きます)

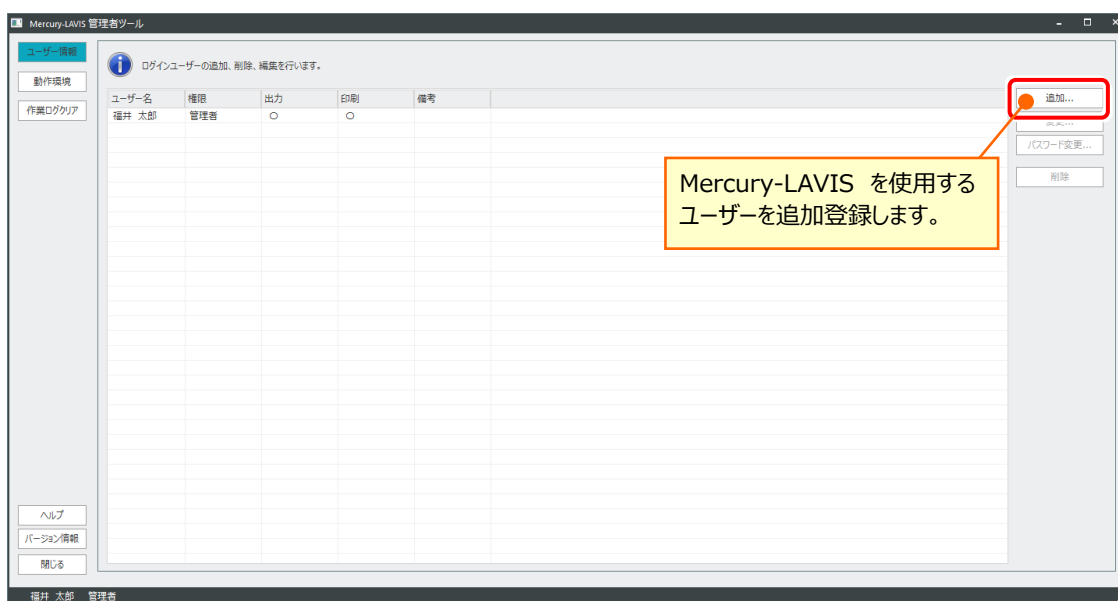
4. 先ほど登録した管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力して、[SignIn] をクリックします。

ユーザー名  
福井 太郎

パスワード  
●●●●●●●●

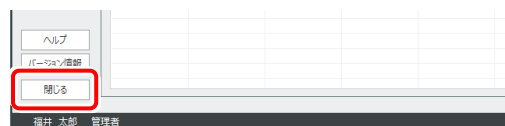
SignIn

5. 「管理者ツール」が起動します。



- Mercury-LAVIS を使用可能なユーザーが、一覧表示されます。
- 複数人で Mercury-LAVIS を使用する場合は、[追加] ボタンでユーザーを追加登録します。
- 「管理者ツール」を起動できるのは、権限が「管理者」のユーザーのみです。

6. Mercury-LAVIS を使用するユーザーの登録を終えたら、[閉じる] をクリックして、「管理者ツール」を終了します。



続いて 次ページ「5-2. 「管理プログラム」の起動」に進みます。

## 5-2 「管理プログラム」の起動

管理者と仕様するユーザーの登録を終えたら、「管理プログラム」を起動します。

1. デスクトップの「Mercury-LAVIS 管理プログラム」のアイコンをダブルクリックして起動します。
2. ライセンスの確認がおこなわれます。



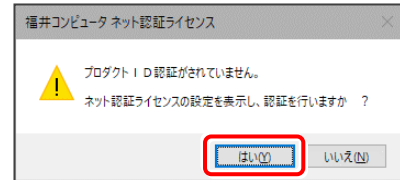
### ● プロダクトID認証のメッセージが表示された場合

ネット認証ライセンス（占有）を使用する場合は、「はい」を押します。

続いて下記手順を参照し、ネット認証ライセンスのプロダクトIDを認証します。

※ 認証の際は、インターネットに接続されている必要があります。

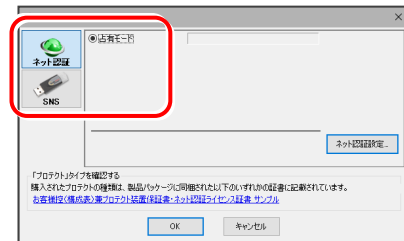
※ 他のプロテクトを使用する場合は、「いいえ」を押します。



### ● 「プロテクト設定」画面が表示された場合

使用するプロテクトを選択して、「OK」を押します。

※ どれを選択すればいいかわからない場合は、本書の25ページを参照してください。



## ネット認証ライセンス（占有）の場合、プロダクトID認証の手順

※ ネット認証ライセンス（占有）のお客様のみ、おこなってください。

「プロダクトID問い合わせキー」を入力して、「プロダクトID取得」ボタンを押します。

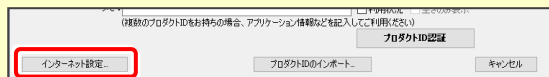
「プロダクトID」が取得されたのを確認したら、「プロダクトID認証」ボタンを押します。

「プロダクトID問い合わせキー」は 6桁+6桁 です。

送付される「ネット認証ライセンス証書（占有）」に記載されています。

<b>重要</b>	本証書は、コンピュータ入れ替えの際などに必要となりますので、大切に保管してください。	出荷日: [ ]
		伝票ID: [ ]
ネット認証ライセンス証書（占有）		
ユーザーコード	[ ]	
ユーザー名	[ ]	
製品シリアル番号	[ ]	
プロダクトID	[ ]	
プロダクトID 問い合わせキー	[ ]	
商品構成	[ ]	

※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、「インターネット設定」ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



（次ページへ続きます）

「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。

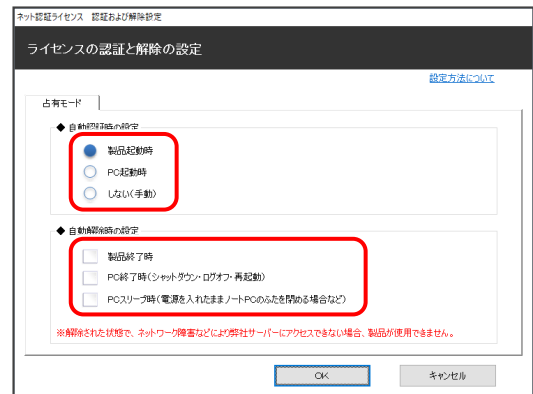
お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を設定してください。

**自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します**

事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- ・ 複数人でライセンスを使用する場合。
- ・ 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- ・ 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

※ 自動解除の設定は、お客様のご判断でご使用ください。

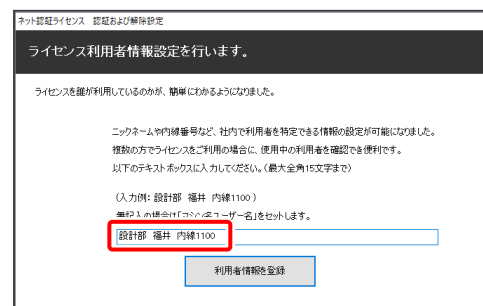


選択を終えたら、[OK] ボタンを押します。



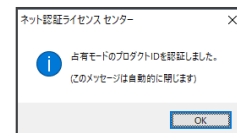
利用者情報を入力して登録してください。

**【利用者情報】** は、プロダクトIDの利用状況（誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等）を確認する際に利用されます。内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。



ネット認証ライセンス（占有）のプロダクトIDが認証されます。

続いて 次ページ **3.** の手順に進みます。



3. 「管理者ツール」で登録した [ユーザー名] と [パスワード] を入力して、[SignIn] をクリックします。

ユーザー名  
福井 太郎

パスワード  
●●●●●●●●

SignIn

4. 「管理プログラム」が起動します。  
管理プログラムでは、地籍調査をおこなう地区データを管理します。

グループ 地区 ツール 地区検索

すべて (0) 状態 地区名 開地期日 終了期日 作成日時 最終更新日時 備考

未分類 (0)

ごみ箱 (0)

筆数連携  
筆数連携を起動

0% 立会 0% 調査後 0% 閲覧

筆総数: 0

公団CAD		地籍計算CAD	
データ名	最終更新日時	データ名	最終更新日時

福井 太郎 [管理者] - Mercury-LAVIS - ヘルプ/FAQ検索



新マシンでの作業

## 6

# データ・設定のリストア（復元）

旧パソコンでバックアップしたMercury-LAVISの「地区」・「設定」・「ユーザー定義帳票」・「相続関係図」のデータを、新パソコンのMercury-LAVISにリストア（復元）します。

### 6-1 バックアップした地区データをリストア（復元）する

バックアップした地区データ（事務支援、公図CAD、地籍計算・CAD）をリストア（復元）する手順です。  
バックアップファイルの拡張子は「.lvx」です。

以下のいずれかの方法でバックアップします。

#### 6-1. 地区データのリストア

※ Ver.3以前の場合は、この方法で地区データを個別にリストアします。

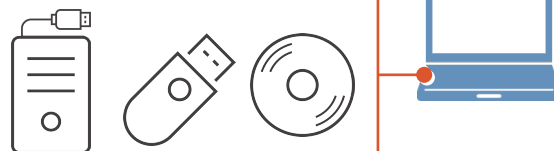
#### 6-2. サーバーツールによる地区データの一括リストア

※ サーバークライアントインストールしている場合は、バックアップツールで一括リストアすることができます。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 「工事データ」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）を、パソコンにセットします。

- 1 「工事データ」のバックアップファイルを保存したメディア



- 2 管理プログラムを起動して、  
[ツール] - [リストア] - [地区] を  
クリックします。





③ [地区のリストア] ダイアログが表示されます。

リストア元のフォルダーを指定します。

④ バックアップファイル（拡張子「.lvx」）を指定します。

⑤ リストア先のグループを指定します。

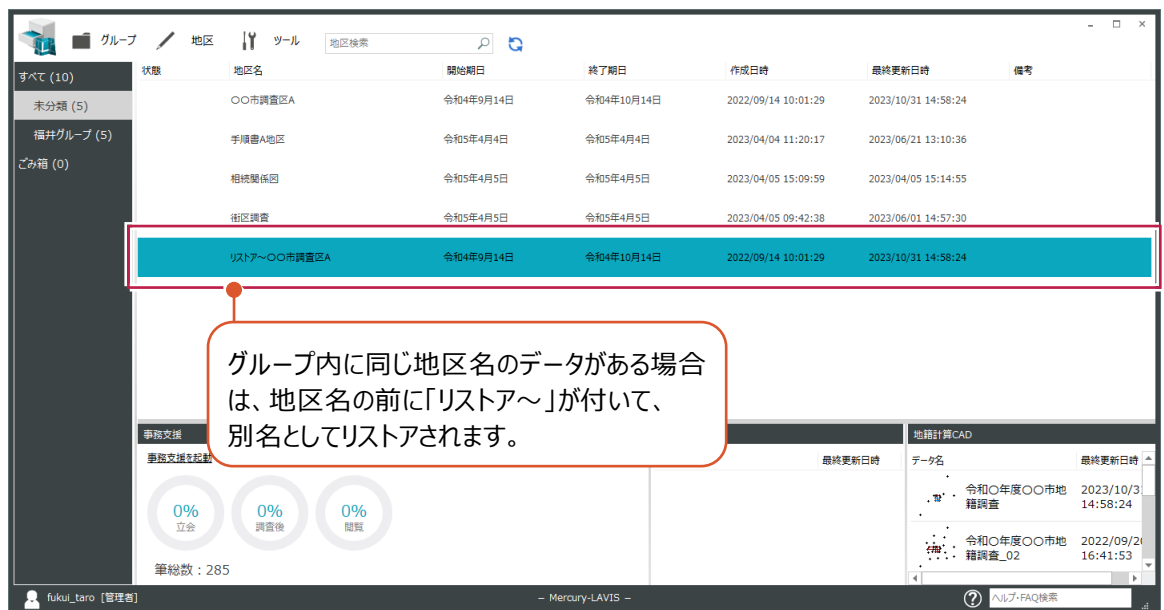
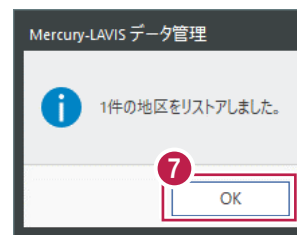
ここでは [バックアップ時のグループ] を選択します。

⑥ [リストア] をクリックします。

リストアが開始されます。

※ リストアするデータによっては、時間がかかる場合があります。

⑦ リストアが完了したら、[OK] をクリックします。

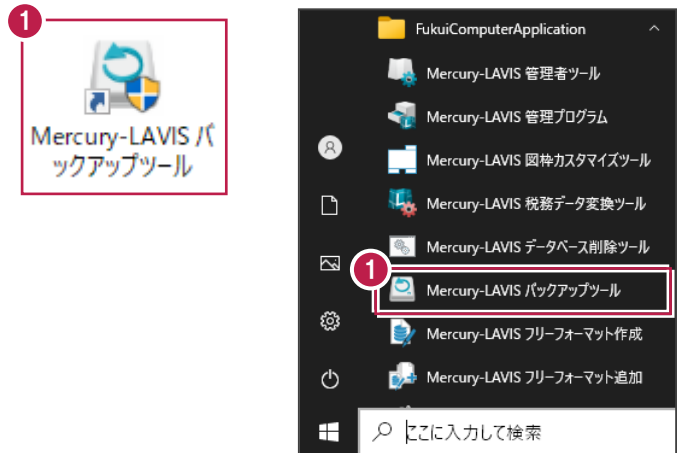


## 6-2 サーバーツールによる地区データのリストア (サーバクライアントインストールしている場合のみ)

地区データ（事務支援、公図CAD、地籍計算・CAD）を一括リストアします。  
バックアップファイルの拡張子は「.lvx」です。

- 1 デスクトップの [Mercury-LAVIS バックアップツール] をダブルクリックします。

または Windows の「スタート」メニューの [FukuiComputerApplication] – [Mercury-LAVIS バックアップツール] をクリックします。

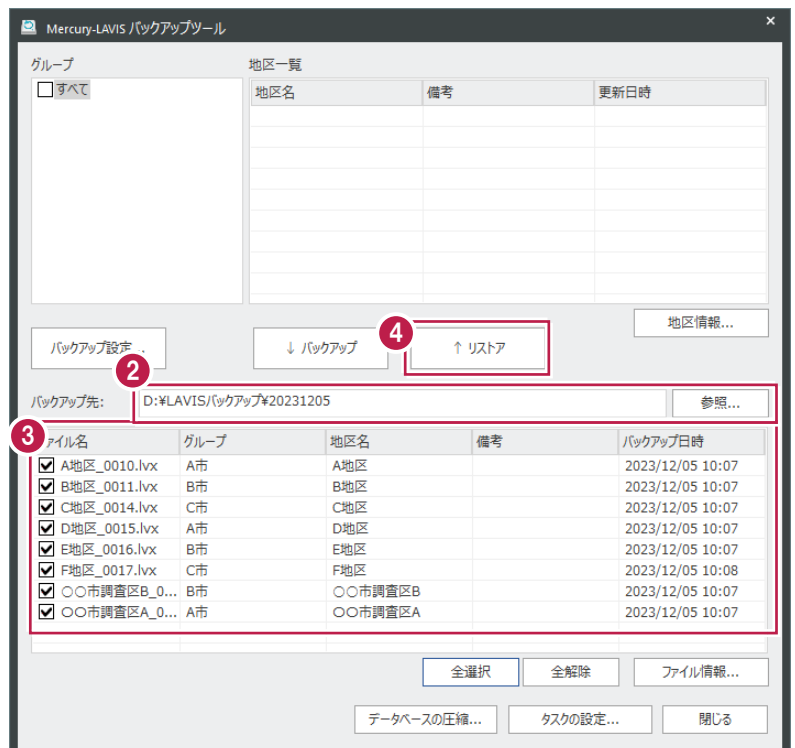


- 2 「バックアップツール」が起動します。  
[バックアップ先] に、バックアップ先のドライブ、フォルダ名を入力します。

- 3 リストアする地区のチェックを ON にします。

- 4 [リストア先] に、リストア先のドライブ、フォルダ名を入力します。

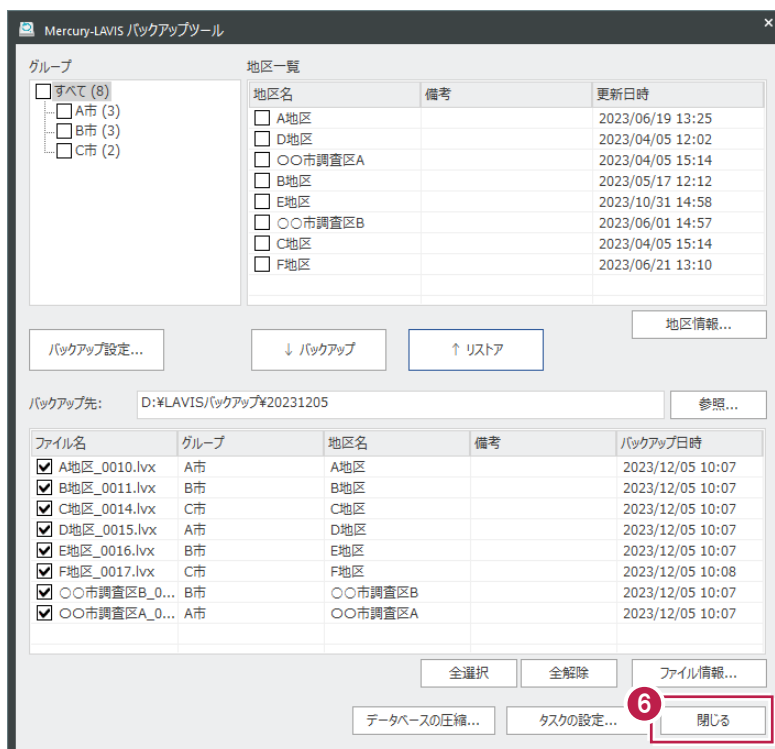
※ リストアするデータによっては、時間がかかる場合があります。



5 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。



6 [閉じる] をクリックして、終了します。



## 6-3 全設定のリストア（復元）

各種設定やマスターファイル、レジストリをリストア（復元）する手順です。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

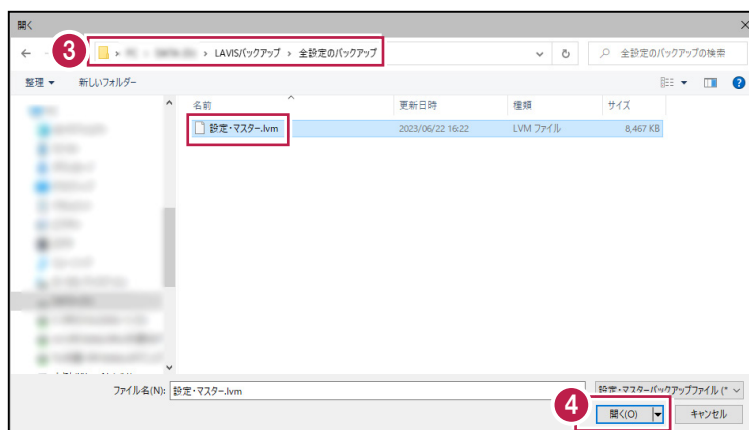
- 1 [ツール] - [リストア] - [全設定] をクリックします。



- 2 [全設定のリストア] ダイアログが表示されます。  
[各種設定・マスターファイル] をクリックします。

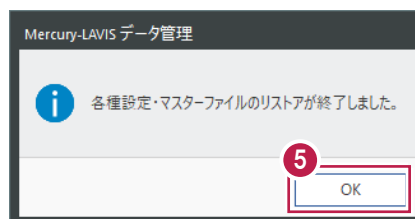


- 3 [開く] ダイアログが表示されます。  
バックアップファイルの保存先、ファイル名を指定します。

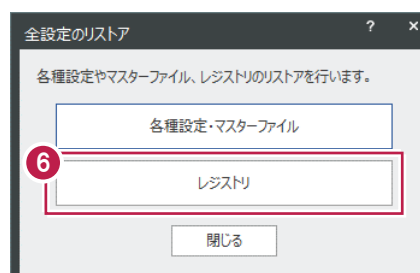


- 4 [開く] をクリックします。  
リストアが開始されます。

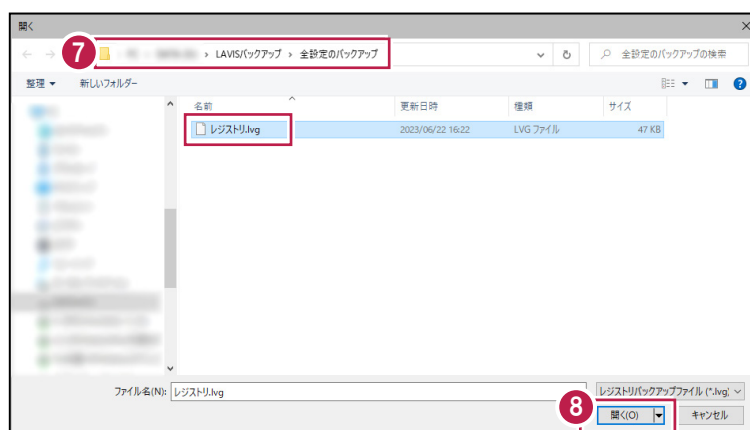
5 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。



6 [レジストリ] をクリックします。



7 [開く] ダイアログが表示されます。  
バックアップファイルの保存先、ファイル名を指定  
します。



8 [開く] をクリックします。  
リストアが開始されます。

9 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。



10 [閉じる] をクリックして、終了します。



## 6-4 ユーザー定義帳票のリストア（復元）

ユーザー定義帳票とカスタマイズ帳票をリストア（復元）する手順です。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [リストア]  
- [ユーザー定義帳票] をクリックします。



- 2 [開く] ダイアログが表示されます。  
バックアップファイルの保存先、ファイル名を指定  
します。



- 3 [開く] をクリックします。  
リストアが開始されます。

- 4 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。



## 6-5 相続関係図のリストア（復元）

「相続関係図プログラム」のデータをリストア（復元）する手順です。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [相続関係図] - [リストア] をクリックします。

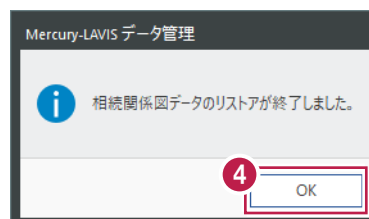


- 2 [開く] ダイアログが表示されます。  
バックアップファイルの保存先、ファイル名を指定します。



- 3 [開く] をクリックします。  
リストアが開始されます。

- 4 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。





### 新マシンでの作業

## 7

# セキュリティソフトの除外設定

セキュリティソフトに誤認識されてしまうと、起動や保存障害などの不具合が生じることがあります。このような状態を事前に回避するため、弊社プログラムがウイルスの検出対象にならないように、セキュリティソフト側であらかじめ除外設定（検出対象から除外する設定）する手順について解説します。

## 7-1 除外設定の手順書を開く

- 1 お客様サポートの「インストール/認証・起動」をクリックします。

福井コンピュータ株式会社 Customer Support お客様サポート

お客様サポート  
Mercury-LAVIS

※現在Mercury-LAVISをご利用いただいているお客様につきましてはFCアカウント提供を行っております。詳しくは、FCアカウントのお知らせをご参照ください。

お客様の「困った!」を解決し

マニュアル インストール / 認証・起動

初めて操作される方向けに、製品の基本的な操作マニュアルを用意しています。

サポートセンターに日々寄せられるインストール、ネット認証などに関するご質問をご覧いただけます。

- 2 「その他お困りごと」をクリックします。

福井コンピュータ株式会社 Customer Support お客様サポート

お客様サポート  
Mercury-LAVIS

マニュアル > インストール / 認証・起動 > よくある質問 > 電話・リモートサポート >

プログラム更新 >

インストール 認証・起動 その他お困りごと

新規インストール・バージョンアップ等 ネット認証ライセンス・プロテクト等 その他システムに関するお困りごと等

インストール

製品の新規セットアップ、バージョンアップなどの手順はこちらをご覧ください。



- 3 「セキュリティソフトの除外設定について」の「セキュリティソフトの除外設定方法」をクリックします。  
内容を確認してください。



- 4 セキュリティソフトの除外設定の手順書が表示されます。  
お使いになっているセキュリティソフトに合わせて「Q:」をクリックします。  
手順書を参考にして、セキュリティソフトの除外設定をおこなってください。

